資料４

宜野湾市総合戦略推進委員の評価・意見

宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略　平成29年度実施事業について

【 総合戦略推進委員の評価・意見 】
○基本目標①について ・ハローワークの事務所について、実施状況を見ると、宜野湾市の方が利用している割合が高いと見受けられ、効果的だと考える。継続的に設置する必要があると考える。 ・「小口融資制度については、見直しまたは「利子補給制度」への切り替えを検討する必要があると考える。 ・ハローワーク相談者の就職者数について、正規・非正規の別がどうなっているのかも把握する必要があると考える。
【 市の見解・今後の取り組み 】
・小口融資制度については、景気の流れ等も見ながら見直しを検討する必要があると考えている。 ・ハローワーク相談者の就職者数の正規・非正規の別については、フルタイム・パート、職種別などのデータはありますが、正規・非正規については集計しておらず、把握は難しいと考える。

【 総合戦略推進委員の評価・意見 】
○基本目標②について ・はごろも祭り来場者数について、会場内の駐車スペースが不足していると前回の会議で挙げられていたが、改善に向けた取り組みはあったのか。 ・2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、ナショナルチームの合宿誘致をやって頂きたい。また運動器具類についても、トップアスリートが使うような備品の導入を検討してもらいたい。
【 市の見解・今後の取り組み 】
・駐車場確保について、イベント時には、駐車車両の制限や駐車場案内係を置き対応し、来場者には公共交通機関のご利用を周知している。 ・合宿誘致について、現在パラ陸上やビーチサッカー、ウィンドサーフィン等の合宿が実施されている。その他、合宿地視察に係るトルコ代表団の受入れも行っており、今後も受入れに向けた取組みを実施していく。運動器具類の導入の検討について、関係部署と協議調整を図っていく。

【 総合戦略推進委員の評価・意見 】
〇基本目標③について ・子どもの居場所づくりについて、自治会としても増やしたいが、国の事業ということで審査のハードルが高く、実施できるところが少ない。 ・子どもの居場所づくりについて、実態を把握する上で、延べ人数で数えているのは理由があるか。
【 市の見解・今後の取り組み 】
・国や県の補助事業については、会計実施検査などもあり、細やかな対応が求められるため、ハードルを下げるということは難しいと考えられる。 ・子どもの居場所づくりの延べ人数での数値については、中にはこのような事業の対象者であると偏見を抱く人もいるということから、対象者のみではなく、そうじゃない人も含めて事業を実施しているため、延べ人数で数値を把握している。

【 総合戦略推進委員の評価・意見 】
〇基本目標④について ・備蓄食料について、本市は年間 281 万人の観光客がいるので、その数も考慮した備蓄が必要だと考える。
【 市の見解・今後の取り組み 】
・沖縄県においては、観光危機管理計画を策定しているが、本市は未策定である。観光客を視野に入れた備蓄に向けて、担当課間の調整を行う必要があると考える。